

令和6年度 能登町立鵜川小学校 学力向上プラン

年間のゴールの姿

友だちと考えを共有し、自分の考えを適切に表現できる

1 授業づくり

(1) 現状と課題 (R)

児童生徒の課題	現状と要因・根拠となるデータ
題意に沿って、適切に説明したり、順序良く説明を書き表したりすることができない。	<p>[現状と要因]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎基本の問題を解く力は全校である程度身に付いており、「自分たちは説明する力がついている」と感じている児童が多い。</li> <li>△丁寧に順を追って式や説明を書けない。</li> <li>△相手を意識し丁寧に説明をしようとしていない。</li> </ul> <p>→適用問題までの理解が十分でない。</p> <p>[根拠となるデータ]</p> <p>R5 後期児童アンケート：「根拠や理由を明らかにして説明することができたか」肯定的回答全校(89.6%)</p> <p>R5 後期検証問題(説明する問題)：正答率(78.1%) ノート検証(77.4%)</p> <p>R5 県評価問題②(式や言葉を使って説明する問題)：正答率(0%)</p>

(2) 計画と実行 (P・D)

具体的取組	評価項目	評価
<p>【考えを伝え合う場の設定】ワンステップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアやグループで自分の考えを伝える場(深めタイム)を授業の中に位置づけ、反応ワードを使って安心して話し合いができるようにする。</li> </ul> <p>【キーワードの共有】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な用語を黒板に提示し、表現に生かすことができるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>反応ワード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>同じ考え</li> <li>なるほど たしかに</li> <li>・そうそう 同じです</li> <li>・へえー</li> <li>・～さんの考えと似ている</li> <li>ちがう考え</li> <li>・他に</li> </ul> </div> <p>【書く場の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えをもち、話し合いを通して適切な表現で書く場を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果検証 「自分の考えを適切に表現している」(ノート) 80%</li> <li>・実施検証 「考えを伝え合う場を設定している」 100% 「キーワードを提示している」 100%</li> <li>・研究授業 「自分の考えを適切に表現している」 70%</li> <li>・診断テスト 「自分の考えを適切に表現している」 70%</li> </ul>	

(3) 検証と改善 (C・A)

月	評価方法(誰が、いつ)	結果	取組の成果○・課題▲
4			
5	<input type="checkbox"/> 参観シート(6年研究授業) <input type="checkbox"/> ノート検証(学担 4週) <input type="checkbox"/> 診断テスト(学担 5週)		
6	<input type="checkbox"/> 参観シート(〇年研究授業) <input type="checkbox"/> マネジメントウィーク(管理職 3週) <input type="checkbox"/> ノート検証(学担 4週)		
7	<input type="checkbox"/> ノート検証(学担 4週) <input type="checkbox"/> 診断テスト(学担 2週) <input type="checkbox"/> 児童アンケート(学担 3週)		
9	<input type="checkbox"/> 参観シート(3・4年研究授業) <input type="checkbox"/> ノート検証(学担 4週)		

取組の成果○・課題▲

2 基盤づくり

目標	具体的取組	評価
相手意識をもって反応しながら話す・聞く	<p>話し方・きき方の指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手を見て(話し方・きき方あいうえお…あ)</li> <li>・～ですよ。どうですか?</li> <li>・反応しながらきく。(反応ワードを使って)</li> </ul>	

